



## < 蔡紹霞 (メイ シウ ハ チョイ) >

国、地域：香港

年 齢：59歳

現 職：新華日本食品有限公司 代表取締役社長  
西村料理集団 代表取締役社長

### 中華料理への日本産食品の利用を促進

- ・ 1997年以来約20年間、香港への日本食品の輸入に取り組むとともに、本格的日本レストラン「西村日本料理」も経営。
- ・ 日本の生産地を足繁く訪れ、直接現場を見て、生産者の話を聞いて、香港で売れる日本産食品を発掘・販売。
- ・ 日本産食材の中華料理への活用にも大きく貢献。

1997年以来、香港で約20年間、日本産食品の輸入を手がける地場系の商社・新華日本食品有限公司において、代表取締役社長を務める。新華日本食品有限公司は、その設立時よりチョイ氏が中心となって、日本産の水産物、加工食品、酒類など、幅広く日本産食品を輸入し、香港の日系・地場系スーパーやデパート、レストランを網羅する販路を確立し、日本産食品を広く紹介し、普及させてきた。また、チョイ氏は、日本食レストラン「西村日本料理」も経営し、築地や北海道から仕入れた新鮮な水産物などを使った日本料理を提供し、和食・日本料理の普及に尽力している。

チョイ氏は日本の生産地に自ら足を運び、生産者から直接食材、商品のストーリーを聞き、生産現場を見た上で、香港で売れる食材、商品を発掘している。このため、年間を通じて、香港より日本での滞在時間の方が長いというほど日本を足繁く訪れており、日本産食材の知識も豊富である。

日本産食品を扱う現地輸入業者の中でも、特に中華レストランとの幅広いネットワークを持ち、水産物を中心に、日本産食品の中華料理への活用を提案し、日本産食材の中華料理への活用にも大きく貢献。特に、現地中華料理レストランへの日本産冷凍牡蠣の安全性の説明や使い方の提案を通じ、現地中華料理店に日本産牡蠣が浸透した。

また、2014年に宮崎県と協定を結び、日本産食材PRのための香港でのフェア開催や販売を行うなど、地方自治体とも連携を深めており、それぞれの特産品の普及にも尽力しているほか、ジェットロ主催の日本食品輸出商談会にも積極的に参加しており、日本の地方自治体を含む、日本と香港を結ぶビジネスパートナーとしても活躍している。

兄弟に、香港最大の財閥である新華集団（中国、マカオ、日本をはじめ東南アジア、北米、欧州等にもグローバルに事業展開するコングロマリット）総裁のジョナサン・チョイ氏。